

## 平成20年度質の高い大学教育推進プログラム審査結果表【選定】

機 関 名	長岡技術科学大学				
取 組 名 称	実践的技術教育マイスター制度				
取組学部等	工学部				
申 請 区 分	上記以外の工夫改善を主とする取組				
整 理 番 号	A31013	申請の形態	単独	取組期間	3年
申請の分類	FD・SD				
キーワード	技術教育, マイスター(熟練教職人), 技術教育フロンティアプログラム, 技術教育シニアプログラム, 技術教育マイスタープログラム				

### <選定理由>

本取組は、科学技術大学としての個性化を意欲的に進め、教員の実践的技術教育能力の更なる向上を図りたいという視点から、従来のFD活動をさらに拡大・充実させ、実践的技術教育マイスター制度の構築に積極的に取り組んだプログラムとして高く評価できる。特に、教員に対して、職位に応じた技術教育の研修を組織的・継続的に行い、その水準を各段階でチェックし、最終的には実践的技術教育マイスターを認定しようとする制度は、我が国の技術教育の発展を目指した先駆的試みであり、この取組の目的を達成することについて大きな意義を有するものである。また、大学がこの取組の意義を高く位置づけ、これまでの実績として企業や卒業生を対象とした教育活動に関するアンケート調査を実施し、FD活動強化の推進母体とするため教育方法開発センターを平成19年度に整備しており、今後の展開についても具体的な計画を立てていることなど、取組の実現性についても高く評価できる。

ただし、マイスター認定制度の運用においては、認定基準の更なる明確化が必要であり、また人事管理面で解決すべき課題も予想されるため、取組実施に当たっては、このことに対応しつつ、着実に成果を上げることを期待する。

取組の概要【1ページ以内】

◆取組の目的と内容◆

長岡技術科学大学では、FD活動を単なる授業改善からカリキュラム改善、さらには人材育成を含む広範な教育改善活動と捉えている。このような教育改善活動を継続的に行う能力を身につけるため、教員の職位に応じて定期的・組織的に研修を行う教育職能開発プログラムを構築しつつある。本取組では、生涯にわたり一貫した**技術教育**職能開発プログラムである「**実践的技術教育マイスター制度**」の第1段階として、「**技術教育フロンティアプログラム**」を新採用教員向けに創設し定着させることを目的とする。

【**技術教育フロンティアプログラム**】 職位を問わず新採用された全教員に対して1年間にわたる基礎的な教育職能開発プログラムを提供する。本プログラムのほとんどは必須研修であり、**技術教育**に関する必要最低限の心構え、知識、技法などを涵養する。一部のコンテンツは**技術教育マイスター**からも伝授され、その教育ノウハウがフィードバックされる。本プログラム修了者には**技術教育フロンティア**の資格称号が与えられ報奨されるほか、職掌面での優遇措置がとられる。

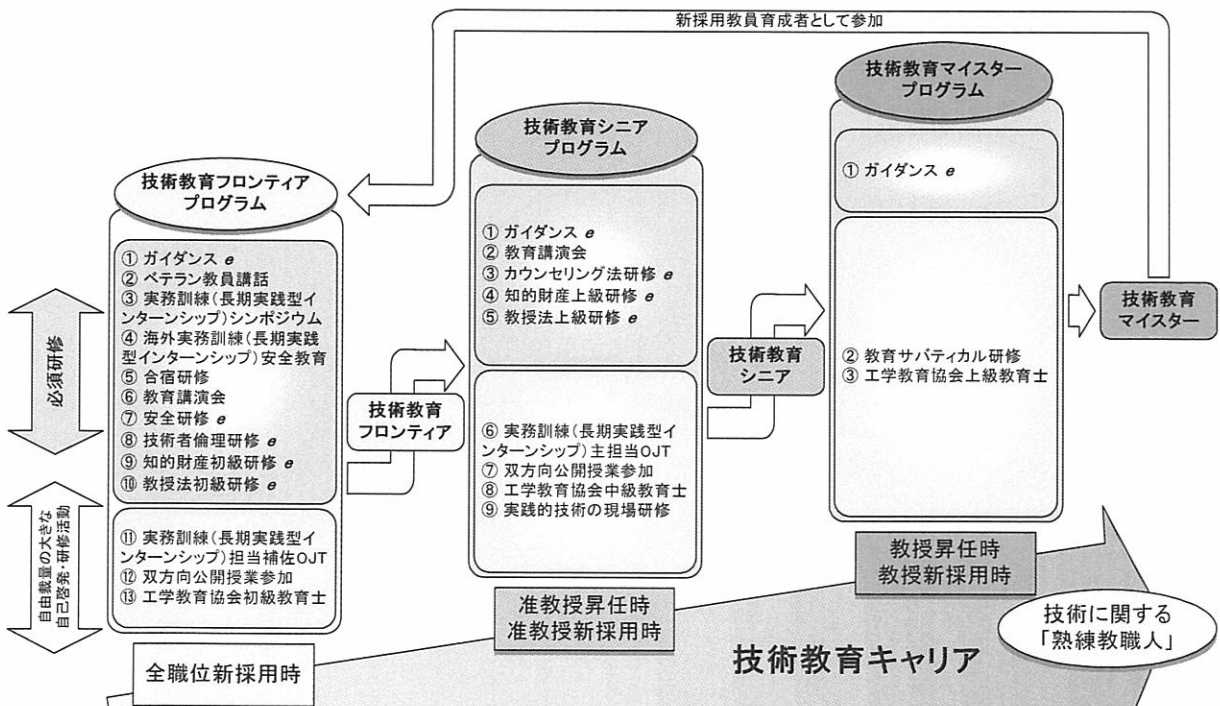
【**技術教育シニアプログラム**】 准教授昇任時または採用時に実施される1年間の中堅教員向け教育職能開発プログラムである。本プログラム修了者は**技術教育シニア**として報奨される。

【**技術教育マイスタープログラム**】 教授昇任時または採用時に実施される3ヶ月～6ヶ月間の発展的**技術教育**職能開発プログラムである。本プログラムでは必須研修を最小限にし、自己啓発・自己研修活動である教育サバティカル研修に重点を置く。本プログラムの修了者には**技術教育マイスター**の資格称号が与えられ報奨される。さらに、「**マイスター（熟練教職人）**」として若手教員の育成にも参加する。

◆取組の実施・評価体制◆

既存の教育方法開発センター内に**技術教育マイスター**制度運営ワーキンググループを新たに設置し、企画・運営やプログラムコンテンツの開発を行う。一方、同センター内にある教育効果等調査・分析部会が自己評価を行うほか、組織外に**技術教育マイスター**制度自己点検委員会を設けて客観的な点検評価を実施する。本取組終了後には学外評価を受けられるようにする。

長岡技術科学大学 実践的技術教育マイスター制度



※ e印は e-learning 教材としてもコンテンツを設けることを示す。